

製品名: p38- γ/δ (リン酸化チロシン 185/182) ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab05828

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、 -20°C で保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000
分子量	40kDa

抗原情報

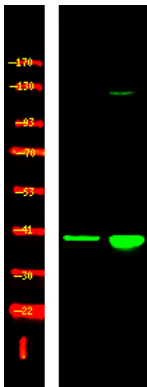
遺伝子名	MAPK12
別名	Mitogen-activated protein kinase 12 (MAP kinase 12) (MAPK 12) (EC 2.7.11.24) (Extracellular signal-regulated kinase 6) (ERK-6) (Mitogen-activated protein kinase p38 gamma) (MAP kinase p38 gamma) (Stress-activated protein kinase 3)
遺伝子 ID	6300.0
SwissProt ID	P53778
免疫原	ヒト p38- γ/δ (リン酸化チロシン 185/182) 由来の合成ペプチド

背景

触媒活性:ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。補因子:2つのマグネシウムイオンを結合します。ドメイン:TXYモチーフには、リン酸化によってMAPキナーゼが活性化されるスレオニンおよびチロシン残基が含まれます。酵素調節:スレオニンおよびチロシンのリン酸化によって活性化されます。機能:環境ストレスおよび炎症性サイトカインによる活性化にตอบสนองして、下流の標的をリン酸化します。筋芽細胞分化に役割を果たし、副腎細胞における低酸素状態に対するサイクリンD1のダウンレギュレーションにも関与していることから、MAPK12は分化を促進しながら細胞増殖を阻害する可能性が示唆されます。PTM:Thr-183およびTyr-185が二重にリン酸化され、酵素を活性化します。類似性:タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。CMGC Ser/Thrタンパク質キナーゼファミリー。MAPキナーゼサブファミリー。類似性:1つのタンパク質キナーゼドメインを含む。細胞内局在:SH3BP5と結合した場合、ミトコンドリア。サブユニット:モノマー。シントロフィンSNTA1のPDZドメインと相互作用する。SH3BP5と相互作用する。組織特異性:骨格筋と心臓で高発現する。

研究分野

画像データ



1, HeLa細胞、2 LPS 100 ng/mL 30分処理後のウェスタンブロット分析。一次抗体は1:1000希釈。二次抗体は1:10000希釈。